

山下の結婚式

- ・司式者入場
- ・新郎入場
- ・フラワーガール / 新婦（入場曲）

「ご友人・ご家族の皆様、新婦の入場のためご起立ください。」

- ・アメイジング・グレイス（アカペラ）

英語と日本語で「アメイジング・グレイス」を歌いますので、そのままご起立ください。

Amazing grace, how sweet the sound That saved a wretch like me.

I once was lost, but now am found, Was blind, but now I see.

Twas grace that taught my heart to fear, And grace my fears relieved;

How precious did that grace appear The hour I first believed!

驚くばかりの 恵みなりき

Odoroku bakari no megumi nariki

この身の汚れを 知れるわれに

Kono mi no kegare o shireru ware ni.

恵みはわが身の 恐れを消し

Megumi wa wagami no osore o keshi

任する心を 起こさせたり

Makasuru kokoro o okosa setari.

- ・祈り

祈りましょう。

天の父なる神様、

あなたが造られたこの日を感謝します。今日、私たちは共に集まり、この日を喜び楽しんでいます。

結婚という賜物、そしてそこから生まれる愛と喜びを感謝します。

どうかこの尊い結びつきを祝福し、あなたの完全で尽きることのない愛を示すものとしてください。

これらすべてを御子イエス・キリストの御名によって祈ります。

アーメン。

ご着席ください。

・挨拶

翔平さんと真実さんに代わり、皆様にお越し頂いたことを心より感謝いたします。

皆様のご臨席は、今日という日において本当に大きな贈り物です。

今日は愛の日であり、約束が交わされ、心が結ばれる日です。

お二人にとって決して忘れられない一日となるでしょう。

そして写真を見るたびに、皆様がここに共にいたことを思い出すことでしょう。

・メッセージ

「結婚は、私たちが知るなかでも最も古く、最も意味深い約束のひとつです。」

「どの文化もそれを祝い、どの国もそれを大切にし、どの時代も家庭と社会の土台としてきました。」

「しかし、結婚がどこで始まったのかを考えたことはあるでしょうか？」

「人々が結婚する理由だけでなく、そもそも結婚を始めたのは誰なのか？」

「興味深いことに、世界の宗教や伝統の中で、結婚の起源を明確に説明しているのは聖書だけなのです。」

「聖書は結婚が大切だと言うだけでなく、その始まり、設計者、そして目的を示しています。」

「今日は、結婚は人間の文化的な創造ではなく、神ご自身が初めから計画されたものであるということを短く分かち合いたいと思います。」

「結婚は神が創られ、初めからご計画の中にあったものなのです。」

天地創造の六日間の物語は、聖書の最初、創世記に記されています。

神はご自分の創造を見て、とても良かったと記されています。

創造の過程で六度、神は「良かった」と言われました。

その中には、神の愛の対象である人間も含まれていました。

男女、神のかたちに造られました。

「神はお造りになったすべてのものを見られた。見よ、それは非常に良かった。」（創世記1章31節）

創世記2章では、六日目の創造がさらに詳しく記されています。

まず最初にアダムが造られました。

*創世記2章18節の記述に注目してください。

また、神である【主】は言われた。「人がひとりでいるのは良くない。わたしは人のために、ふさわしい助け手を造ろう。」

創世記 2:21 神である【主】は、深い眠りを人に下された。それで、人は眠った。主は彼のあばら骨の一つを取り、そのところを肉でふさがれた。22 神である【主】は、人から取ったあばら骨を一人の女に造り上げ、人のところに連れて来られた。23 人は言った。「これこそ、ついに私の骨からの骨、私の肉からの肉。これを女と名づけよう。男から取られたのだから。」24 それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである。

聖書が教える「一体」とは、夫婦の人生すべてにおける一致と結びつきを意味します。

夫婦には異なる役割がありますが、神のご計画の中でひとつとして働くのです。

ですから（イエスはマルコの福音書10章9節で続けて言されました）、『神が結び合わせたものを、人は引き離してはなりません。』

このように、神様が定められた結婚のかたちと、それに伴う生涯にわたる誓いを理解したうえで、ここで結婚の誓いを象徴する伝統的なものに移ります。

・指輪: 入場リングベアラー

*指輪をいただけますか。

結婚は、汚されず、壊れない生涯の結びつきを意味します。

この貴金属は壊れにくく、傷つきにくいことから、その象徴となっています。

指輪が丸いのは、途切れない結びつきを示すためです。

円には始まりも終わりもなく、永続する愛を象徴します。

時を重ねると指輪は傷つくかもしれません、耐え続けます。

同じように、結婚生活は常に簡単なものではなく、困難な時期を乗り越えなければなりません。しかし、信頼し、忍耐強く、心を一つにして歩むなら、あなた方の愛も、この指輪のように時の試練に耐えることでしょう。

あなた方の指輪は、世界中に向けて、あなた方が献身を誓い、その献身を誇りに思い、これからもその献身を守り続けることを示しています。

また、指輪は、これからお互いに交わす生涯にわたる誓いを常に思い出させるものでもあります。

・翔平さんの誓い

翔平さん、真実さんの指に指輪をお置きください。

「翔平、あなたは真実を法的に認められた妻として迎え、この日から、良き時も悪しき時も、裕福な時も貧しい時も、病める時も健やかなる時も、愛し、大切にし、死が二人を分かつまで共に歩むことを誓いますか？」

・真実さんの誓い

真実さん、翔平さんの指に指輪をお置きください。

「真実、あなたは翔平を法的に認められた夫として迎え、この日から、良き時も悪しき時も、裕福な時も貧しい時も、病める時も健やかなる時も、愛し、大切にし、死が二人を分かつまで共に歩むことを誓いますか？」

・祈り

祈りましょう。

天の父なる神様、

翔平さんと真実さん、そして今日私たちが立ち会った結婚の誓いを心から感謝します。

どうか夫婦としてのこの結びつきを祝福し、これから的人生のすべてにおいて守り、導いてください。

互いの弱さを支え合い、互いの強さから学び合い、これから訪れるすべての喜びと試練、新しい歩みの一つ一つにおいて助け合うことができますように。

また、彼らの息子礼也君の存在にも感謝し、両親としてあなたと共に歩み、彼らの家庭があなたの愛の光となり、希望の避所となり、あなたの善き証しとなりますように祈ります。

さらに、息子レア君のためにも感謝し、両親として知恵と忍耐において共に成長し、彼がいつでも安心し、支えられ、深く愛されていると感じられる家庭となりますように祈ります。

これらすべてを、あなたの御子イエス・キリストのお名前によってお祈りします。

アーメン。

・宣言

翔平さん、真実さん、

この神聖な結婚の証人としてここにいる神様、家族、友人たちの前で、あなたがたが夫婦となったことを宣言できることを大きな喜びとします。

・Kiss Kiss

翔平、新婦にキスをしてください。

・披露

皆さんにご紹介できることを嬉しく思います、

山下翔平さんと真実さんご夫妻です。

・新郎新婦の退場（退場曲）